

uhb 大学報

秋晴れの中 第34回文化祭開催

新型コロナウイルスの影響で6月まで全面休講となり、本格的に授業が再開されたのは7月。そんな中、昨年度に続き短い準備期間での文化祭開催となった。

秋晴れの中、舞台発表は10月26日道新ホール、作品発表は10月26日からギャラリー大通美術館で31日まで開かれた。

冒頭、加藤学長より「とてもいいお天気で文化祭にふさわしい日となりました。今回のコロナでは世界中が経済的、そして日常生活に影響を受けました。こんな時だからこそ一日を健康で大切に生きてほしい一念です。今日一日文化祭をエンジョイして下さい」と挨拶し開幕した。



最初の発表は、コーラス講座（鈴木真由美講師、蔦谷奈緒講師）。「春が来た」「夏の思い出」「まっかな秋」「冬の夜」四季の歌を4曲続けて歌い上げた。今年の新レシヨンは、34期生で講座唯一の男性池脇利昭さんの軽快なコメントに続いて「切手のないおくりもの」、最後の曲は「いつでも夢を」をさわやかに歌

い上げた。続いては健康太極拳講座（浦田順子講師、五十嵐香織講師）。五十嵐講師が八段錦のうち数段を説明後、暁の曲に合わせて24式を演舞した。



広 告

今年の文化祭最後を飾る特別ゲストは、シンガーソングライターの桜庭和さんによる「アンサンブル」ーみんな誰もが主人公ー。一つの出会いを大切にされている桜庭さんの人柄が伝わってくるステージ、そして幅広い音域からの伸びやかな歌声とお話に観客は引き込まれた。身体を使ったり、手拍子を促したりして観客と一体となり楽しいステージを堪能した。



最後に(株)トップ・クリエイション菊谷康行社長が「初めて文化祭を見せていただきました。皆さんの発表どれもこれも一人一人の熱気が伝わって来て、この新型コロナウイルスの中各講座での日々の向き合い方、取り組み方がしっかりと伝わって来ました。いつまでも学び続ける事は大変ですが素敵と感じる事ができました。これからも皆様の学びの場として、交流の場として母校としてよろしくお願い申し上げます」と挨拶し閉幕した。

作品発表は、10月26日から31日までギャラリー大通美術館で開催された。



写真(広木教室)講座(広木忠雄講師)は、札幌近郊や遠くは屈斜路湖でシャッターチャンスを狙った「湖畔の朝」など7作品を展示。賛助作品として広木講師の「いにしえの正面を駆け抜ける野生」道庁正門で撮ったエゾリス。人と野生の関わりを説明する貴重な作品も展示されていた。

写真(細井教室)講座(細井優講師)の今年の文化祭でのテーマは自由課題。何気ない子供のサンダルを撮った「ぬらさないで」道路に落ちた紅葉「地に還る」日が暮れてゆくひまわり畑を撮影した「向日葵の夕暮れ」など12作品が並ぶ。



書道講座(小比賀秋水講師、高橋麗仙講師、吉田裕秋講師)は、今年度は毛筆の他に新規カリキュラムとしてボールペン・ペン字を取り入れ受講している方もいて、額装された作品や写経、掛軸の他に、ペンで書いた「赤とんぼ」「人生の並木道」などの作品も展示されていた。

ひと際目を引いたのは書道講座の展示スペース中央に、小比賀秋水講師の屏風「大いに感動 おおいによろこび 何にでも感謝」が飾られ来場者は足を止めて鑑賞していた。

陶芸講座(下沢敏也講師、小倉裕美子講師、大石俊久講師)は、花器や小皿、大皿、ふくろうの置物、「神無月」「薬ひこぼえ」

広 告

などオブジェの大作も展示。3人の講師の作品も展示されていた。

俳句講座（田湯岬講師）は、田湯講師の参考作品「水軍の如く鯉来る十勝川」をはじめ、「友垣と故山の月や偲ぶ会」「春吹雪寂れた町の我楽多屋」など個性的な6人の俳句を発表。

水彩画講座（佐藤潤子講師）は、7月からの授業はコロナ感染を避けて道庁や百合が原公園、水源池など写生中心に行つたので風景画が多くみられた。皆、確実にデッサン力がつきタイトル「緑克服」などは白樺と新緑の緑との陰影を見事なタッチで描かれていた。

キャンパスのサイズは6号中心で47点が展示。テーブルの上には色付けされた21個の仮面が所狭しと陳列されていた。

パソコン講座（佐伯節夫講師）は、昨年は休講が続ぎ発表が間に合わなかったが今年は7人がフォトブック作成に挑戦。「五郎さん！お疲れ様 想い出ありがとう」北の国からをA4のパネルに取り込んだ作品や皆さん想いの写真を撮り込んだ作品を展示。

個人発表では、タイトル「陽気なバンド」などのシャドウボックスや20号の水彩画、カレンダー、うちわなども出展された。

「私のふるさと」

「雨竜郡沼田町」



UHB大学
書道講座
講師 高橋 麗仙

10歳まで過ごしたその地は、空知管内の北に位置する米どころの町です。

小学3年生になると、田植

私のふるさと ④1

冬の雪深さは別格です。子供海育ちの友人は、波の音が供の足では膝や太股まで埋まりました。山育ちの私にとっては、登校前に父が馬糞で川川川せせらぎ、カエルや郭公の舎には馬、綿羊、鶏がいつも鳴き声がそれです。大人になって、毎朝鶏のゲージにおそるて大阪で暮らし始めた時、見おそる手を入れ、卵を取って渡せど見渡せど稜線が見えない景色に、大都会を思い知グズベリー、グミの実、オンコラされました。山と雪を見たの、実、コクワの実などは格好の飛騨高山に行き、郷愁のおやつでした。今、思い返すと気持ちに慰めてもらつたこと、野生児のようです。

えの人手として幼いながら大人と一緒に水田に入りまし。兄は中学生になると稲刈り、姉は5年生になると、農繁期に集まった大勢の人達の食事の支度と、子供達も完全に一家の担い手となつていました。秋には稲架掛けの手伝いで、日没後も田んぼに立っていました。天空のきれいな月を見ながら、立つたまま眠つたことを覚えています。

四季折々の変化を見せてくれる田舎町。決して裕福ではありませんでしたが、貧しいと感じたこともありません。それは子供の特権なのかもしれ、新しい藁の香りに、得も言われぬ機械化の農業とは程遠い生活の中で、家族に囲まれお腹いっぱい食べられれば、それが「幸せ」の核なのでしょう。両親、祖父母、兄姉文字通り家族全員が一生懸命生きていたように思います。

広 告

2021年度 選 択 講 座 だより

写真(細井教室)講座

テーマは絞りとシャッター

今年度は昨年同様、14人で実質7月からのスタートとなりました。

教室の授業は4年間で学ぶ工夫がされており、今年度は「絞り」と「シャッター」をテーマとしています。

絞りについては、被写界深度にスポットを当て、その条件としては
a) 絞りを小さくするほど深くなる。
b) レンズの焦点距離が短いほど(広角)深くなり、長いほど望遠浅い。



c) カメラと被写体の距離が近いほど浅く、遠いほど深くなる。これらと、シャッタースピードを低速→高速まで変化させて、どのように写真が変化するのかに、ポイントを置いて撮影実習を行い、その後に写真講評があり個々の作品に先生より指導・評価を得て日々研鑽に励んでいます。我々の目的は一貫して、個性的で感動できる写真作りです。

今年度の秋の文化祭の作品共通テーマは、自由課題になり、個々にタイトルをつけて出展しました。新しい取り組みとしては、自分たちの写真集

を作る注意点等についても先生のほうから教えていただいています。
これからの、個性的な写真作りを目指したいと思います。

(濱口 徹記)

写真(広木教室)講座

コロナ禍で撮り方工夫



長引くコロナ禍で、広木教室の人員は3分の1にまで減り、現在休学者を除いて6人となりました。しかし写真に対する熱意は皆さん失うことなく、真剣に取り組んでいます。

写真の撮り方としては、図鑑や絵葉書のようなもので満足せずとも視点の違う写真を撮る事です。つまり、写真を趣味にしたい人と同じところを見ていたら、同じレベルの写真しか撮れないと思います。いろんな写真を沢山見て、引き出しを増やしておくこと現場で違うところへ目を向けられると思います。

水彩画講座

楽しく絵を描く仲間たち

4月に女性2人の新入生を迎え、21人のメンバーでスタートしました。残念なことは、7年間ともに絵を描いていた志賀秀則さんがご逝去されたことです。温厚な人柄で、骨太の男性的な絵を描いていた姿に接することができなくなり本当に残念でなりません。

コロナの影響から5月中旬から6月末まで休講になり、カリキュラムの変更が余儀なくされましたが、講師の佐藤潤子先生(道展会員)の渾身の力強い指導は相変わらず。教室は和気あいあい、楽しく制作に励んでいます。

4月以降、道庁構内をはじめ百合が原公園、西岡水源池、中島公園で写生。11月には近代美術館で「正倉院展」の鑑賞。季節のモチーフを持ち寄るなどした静物画や、様々な技法の講義などバラエティーに富んだ授業が展開中です。また、合評会を開きお互いの技量を



これからもさらにレベルアップするよう、みんなで切磋琢磨しながら取り組んでいきます。コロナ禍とは今後でも共存せざるを得ないと思いますが、第6波が来ないことを願って健康に留意しながら、楽しく活動していきたいと思っています。

(曳地 輝夫記)

書道(小比賀教室)講座

今年度は様変わり

今年度から書道講座の再編に伴い、ボールペン・ペン字のコースが併設されました。例年通り小比賀先生、高橋先生、吉田先生のご指導の下、14人にて今年度の教室はスタート。毎回開始早々にテキストの音読をしますが、今年はマスクの着用で小声で行っています。新入生は、ほぼ先生のマンツーマンの練習で時間いっぱい過ぎていきます。

2年生以上は毎月配布のテキストに則り、各自の好みや得手不得手に合わせて練習を毎月末の提出に合わ



アップに役立たせています。
昨年、大勢が会することに制約を受け、歓迎会、忘年会などの集まりが思うようになりませんが、教室の一同元気に活動中です。

(鹿内 正一記)



書は長く続けられる趣味です。芳名帳記名で怯まれているあなた、一度

もできます。
書は長く続けられる趣味です。芳名帳記名で怯まれているあなた、一度
もできます。
書は長く続けられる趣味です。芳名帳記名で怯まれているあなた、一度
もできます。

せて行っています。書く内容漢字、仮名、写経、詩文書、実用書(葉書、短冊、筆箋、各種熨斗紙、熨斗袋等)を、道具は小筆、中筆、筆ペン、を、紙サイズも半切・八つ切り・半紙・色紙・短冊等を使い、提出したものは、翌々月に評価されてテキスト上で発表され、それを見ては一喜一憂しています。
当日書いたものは家で書いてきたものも含め先生方に丁寧に添削して頂き、お褒めの言葉をいただいたりして上達に励んでいます。更に他の生徒さんの添削の様子を眺めたり聞いたりして自分の反省や、気付きをお互いにしゃべりあうのはとても楽しいです。また、年2回昇級・昇段試験があり、ですので、自分の上達具合を確認することもできます。



見学にいらしては如何ですか。
(本田 精一記)



陶芸講座

百間は一見に如かず

美的感覚ゼロ。芸術的才能もゼロ。おまけに手先は不器用極まりなし。こんな私にも、この陶芸講座はとても居心地の良い楽しい講座です。
17人の個性あふれる大先輩(それがとても優しい)のこれまた個性あふれる作品に毎回私はウットリ状態。何と言っても、いつも聞こえる笑い声と楽しい会話(コロナ禍ですからもちろん控え目ですが)は、ホットする安心感に満ちた、こころ癒しの空間でもあります。もともとは粘土です。されど粘土！なんですよーこれが。

「無」であった物から形ができ、色が付き、焼きあがって完成した作品には愛情たっぷりの注がれた命が生まれてくる様で、それはもう感動ものです。静かに見守ってくれ、優しい目で指導してくれる先生方が常に側にいて



くれる事も安心して楽しくいられる理由でもあります。(感謝)
少しでも陶芸に心惹かれているあなた！興味を持たれたあなた！今、迷いのあなた！是非、陶芸講座へ足を運んでみて下さい。「百間は一見に如かず!!」ですから
(小林 美恵子記)

ある日の授業風景！
英会話Aクラスは新加入の私を含め男性2人、女性3人、日々英会話力向上を目指す気持ち若者の5人です。
講師であるジョー先生は、アメリカロードアイランド州出身です。体格も声もビッグ。また、個性的なヘアスタイルの先生から発せられるアメリカン英語は(特に英語ビギナーのわたしにとって)迫力満点で圧倒されるような場面は幾多も。でも優しい眼差しでのジェスチャーも交えた表情豊かな会話にはいつも和まされます。

英会話(AY・A)講座

ある日の授業風景！

英会話Aクラスは新加入の私を含め男性2人、女性3人、日々英会話力向上を目指す気持ち若者の5人です。
講師であるジョー先生は、アメリカロードアイランド州出身です。体格も声もビッグ。また、個性的なヘアスタイルの先生から発せられるアメリカン英語は(特に英語ビギナーのわたしにとって)迫力満点で圧倒されるような場面は幾多も。でも優しい眼差しでのジェスチャーも交えた表情豊かな会話にはいつも和まされます。

ある日の授業風景！
英会話Aクラスは新加入の私を含め男性2人、女性3人、日々英会話力向上を目指す気持ち若者の5人です。
講師であるジョー先生は、アメリカロードアイランド州出身です。体格も声もビッグ。また、個性的なヘアスタイルの先生から発せられるアメリカン英語は(特に英語ビギナーのわたしにとって)迫力満点で圧倒されるような場面は幾多も。でも優しい眼差しでのジェスチャーも交えた表情豊かな会話にはいつも和まされます。



(佐々木 斉記)

授業はジョー先生による「不規則動詞の活用」模範発音、生徒が復唱、のお決まり事から始まり、次にペアを組んだ相手のトピックを相互に英語で聞き取り、それを全員が発表していきます。先生の添削、質問等を経て後半のテキストを使った授業へと進みます。
文法、会話練習と盛りだくさんメニューの中、英語・英文ばかりだと一寸した外国雰囲気なフラストラーションが募り、生徒間での日本語もしばしばです。するとさすがジョー先生の低くて大きな声で「えい、えい」とたしなめの二語が飛んできます。一同から思わず笑いがこぼれます。横道に逸れない様に誘導するところはさすがだと思います。
聞き取れないこともしばしばですが、英語消化不良状態も先輩の皆様のおかげで、あつという間の90分を過ごしています。退室時、ジョー先生からのスィー○○○に「よし、来週も頑張るゾー」。

英会話(AY・B)講座

異文化交流の素敵なひととき

4月からスタートした今年度の英会話Bクラス。講師は日本での生活が20年になる英国出身のアマンダ・ハローウ先生。日本語もばっちりです。
レッスンは当然ながらイングリッシュオンリーですが、うっかり飛び出す私たちの日本語にも即時に英語で対応し



てくれるので会話が途切れることなく進んでいきます。メンバーも前年度とほぼ変わらずの5人(F4M1)で、和気あいあい楽しく学んでいます。
もっとと会話交流の場に、とのメンバーの思いから、各自の近況や所感発表に終始してしまいがちだった従来のWhat's Newは記述提出する形となり、それに先生が添削やコメントを書いてくれます。

レッスンは時候や最近のニュース等の雑談から始まり、テキストを進めながら



英会話(IAYC)講座

レッスン毎に発見あり

英会話Cクラスは杉野多恵子先生のもと、男性4人、女性4人で和気あいあいのレッスンです。

私が英会話講座を選択したのは、今時最低限の英語知識、とりわけ簡単な英会話は必至との意気込みからで、講座に席を置いて早や数年に至り、その会話レベルには……さておくとして、何よりも私の頭脳を刺激して活性化？するのは、毎回のレッスンの都度、新しい発見に出合う喜びです。

英文法はもとより、初めて出合う英単語、微妙な場面の表現方法や、時には先生から「これは中学校で習ったと

ネイティブの発音やイデオム等、充実の90分です。
趣味や経験豊かな上に向学心溢れるメンバーの集まりで、私にとっては英会話以外にも学ぶことの多いクラスです。
(四方 省子記)

思いですが、「えっそうだったけ!」

♪今となつてはただ忘れていただけか♪
等も新たな発見の類です。また、次回学習時のテーマを決めての各人による英語発表は、ジャンル多岐に渡り、これもまた、新しい知識を得る有意義な話題になつていきます。

時には、我が頭脳の許容値を超えながらも集中しており、やりがいのある講座で今後とも継続したいと思っています。
(山下 敏英記)

英会話(IAYD)講座

和気満々笑い溢れるクラス

講師は愛妻家(恐妻家?)でウェルズ出身のエイダン。自慢のテント付きジープで道内各地を走り回っています。受講者は3人が入替りましたが、その新入生のユニークぶりを一寸紹介します。

まず、滝川市在住の本学で番の遠距離通学者であらうヒロミ。現役キャリアウーマンで、休日は愛車のアルファロメオを駆つて道の駅巡りをする行動派です。
次に、趣味のジャズが転じて英会話を習い始めたカズミツ。トピックス発表では馴染みの店から隠れた名店紹介などユーモアを交えた話に皆引き込まれています。

殿は、今年の英会話受講最年長者であらう御年86歳のトミコ。今でも麻雀を楽しみ札幌ドームでの日ハムの応援も欠かしません。ゴルフでも今年は、メンバーコースのレディース会で見事90台のスコアで優勝しました。いつまでも好奇心旺盛みんなのお手本です。
我々既在講生4人も新入生に刺



激を受け、和気満々笑いの絶えない授業風景となつています。
(小須田 洋記)

旅行に役立つ英会話講座

講座名に惹かれて

当講座も2年目となり、先生の方も生徒の方も授業に慣れてきて、益々楽しい授業となりました。



授業風景では、苦し紛れにいつい

出てしまう日本語に「英語でお願いしま〜す」とのアルハ先生の注意や、生徒からのSHUKRAN(シユ克蘭=有難う/シリア語)に教室に笑いが溢れます。また、授業の最後に出される宿題を苦痛や面倒な事ととらえずに、楽しみにしている雰囲気を感じられ、小生的には少々ビックリ!きつといつか役に立つ事を信じて(願つて)

また、直ぐに役立たせることが出来ないのは、あの「憎つきコロナ」のせいで海外旅行が制限されているからである!等と負け惜しみを思いつつ、楽しく英語を学んでいます。旅行好きな方、外人さんに話しかけられてドキッとした方、是非一緒に!

最後に「英会話楽しく学んで、良い(エエ)会話」なんちゃって…。
(本間 克郎記)

カラオケ講座

文化祭も無事終わり

コロナ禍の中、完全武装で文化祭まで練習をやり切った事は渡辺先生はじめスタッフ、そして仲間達の意識の強さだったと思います。マスク越しの発声は自分の声を感じられず不安なものです。まして真冬に窓を開け放し風を通しながらの練習は、握るマイクも震え気味、声も震え気味、頑張り通した仲間達に拍手です。

余談ですが、年々年を重ねると歌詞を覚えて、舞台上に立つのはモニター頼りの最近では恐ろしさもあります。歌詞よとばないでみんなの願い!!。個人個人の曲の選択の場面では、そ



れぞれ難しさもあり、先生の苦勞もはかり知れませんでした。無事終わつてみれば先生に感謝です。

今年の秋は台風も少なく、例年になく色濃いい紅葉にも恵まれましたが、また季節の移りは早く、雪の季節との戦いが始まります。

令和4年の春は人に優しい日々の始まりである事を願つて、新しい仲間の増える事を期待しています。
(原田 徹記)

囲碁講座

歴史ある囲碁を楽しみませんか?

囲碁講座は私が入学した頃は30人程在籍していましたが、コロナの流行と共に激減しました。しかし、コロナの感染拡大が終了したら囲碁講座に復帰したいと言っている人もいます。

会場は、換気や消毒などの対策が取られたテレビ塔2階の教室で安心して過ごすごができます。



囲碁は、礼に始まり礼に終わります。近年は、大学の講義にも囲碁の授業の導入が進んでいます。また、囲碁は紫式部の「源氏物語」、清少納言の「枕草子」などの平安時代の文学作品の中にも登場しています。さらに、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三武将も囲碁の不思議な魅力に惹かれ愛好したのです。

囲碁は認知予防対策にも最適と言われています。講師の白井先生は、囲碁大会の札幌地区予選で優勝した経験のある実力者です。

初心者にもわかりやすく丁寧にご指導をして下さいますので、初心者の方も経験者も男女問わず、歴史の長い知的ゲームと一緒に楽しませんか？ 囲碁講座へのご参加をお待ちしています。

(熊谷 謙佑記)

コーラス講座

楽しく一緒に歌いませんか

コーラス講座は男性1人、女性2人の新入生を迎え15人でスタートしました。



鈴木真由美先生は、いつも明るい笑顔で温かくご指導下さり、葛谷奈緒先生は、軽やかなピアノの素敵な音色で、私たちを導いて下さいます。

合唱練習はストレッチから始まり全身を使い肩、腕、首筋などをほぐします。喉に無駄な力を入れずに声を出しやすくする腹式呼吸そして発声練習です。ソプラノ、アルトに分かれ、ピアノ伴奏に合わせて、先生は感情豊かに美しい歌声で歌詞、歌曲の情景などを交えて何度も繰り返し丁寧に指導して下さいます。年齢を重ねても気持ち若く歌声は明るく、皆さん学ぶことに一生懸命です。

文化祭では「いつでも夢を」など6曲を発表しました。いかがでしたでしょうか？ 新型コロナウイルスの影響で、会場はザ・ルーテルホールに変更になりましたが、

広い会場で週に一度皆さんと和気あいあいハートニーが響き楽しいひと時を過ごしています。

皆様も一緒に歌いませんか。

(島田 洋子記)

健康太極拳講座

老若男女問わず

ゆつたりとした動きが特徴

今年度の健康太極拳講座は、長く指導していただいた久保真佐子先生から浦田順子先生に交代しました。受講生も新たに女性1人の方を迎え10人となりましたが、8月に退学されて昨年同様9人(男性5人・女性4人)の少人数精鋭で、和気あいあいと練習に励んでいます。しかし、昨年の文化祭には新しく受講した5人は、新型コロナウイルスの影響で7月からの練習開始となり練習不足のため文化祭に出演出来ず、先輩受講生4人と講師2人の6人での24式太極拳の発表でした。



今年は、昨年から受講している5人の初舞台となり、受講生9人と講師2人の11人で緊張しながらも無事に24式太極拳を発表することが出来ました。

太極拳は中国・清代に皇帝達の護身術として生まれ、1956年に中国政府が5流派の代表的な型を整理・統合・簡略化した24式太極拳として制定しました。

講師の指導のもと何となくポーズだけをとるのではなく、気の流れを意識して動くと言うのは体験してみると簡単なことではなく一人でも24式太極拳をゆつたりと演舞できるようになるには数年かかりそうです。ですが、24式太極拳を繰り返すうちに心身のバランスが徐々に整って自然治癒力も高まりリラクゼーション効果も実感できますので、皆さんも機会があれば24式太極拳を始めたいかがでしょうか。

(加藤 義明記)

ヨガ講座

心穏やかに体力アップを

ヨガ講座は昨年まで2講座に分かれていましたが、本年度より1つにまとまり、総勢約22人でのスタートとなりました。

コロナ禍での受講。外出自粛や緊急事態宣言が発動されたりと全員が顔を合わせる事は難しいですが、水野先生、小野寺先生お二方のご指導により、手足のストレッチから始まり、無理せず出来る範囲で身体全体を動かしていきます。時には額に汗をにじませ、時にはイテテと苦笑い。先生の「無理



しないで下さいね」の言葉で、フウと息を吐き一休み。心地良い刺激を感じています。

自分一人ではいつい運動不足になりがちですが、週1回皆さんと一緒にヨガを行う事で、心にも和やかな風が吹き抜けリフレッシュすることが出来るようです。

1日も早く、マスク無しの笑顔で、楽しい時間を共有できる事を心から待ち望んでいます。

(三浦 和恵記)

俳句講座

少人数・精鋭の俳句

田湯岬先生(北海道俳句協会会長)と継続者3人、新入生2人の計6人でスタートし、開講以降全員が皆勤という見事に活発な活動が行われている講座です。

内容を紹介します。初めの30分間は、先生の講義です。配布される先生



独自の資料は、俳句のいろはを記したものの。附属としてテレビ番組「プレイバト」とNHK俳句番組から取り上げた内容が含まれ、毎回親しみやすく、即、俳句の世界に引き込まれます。この後の1時間30分が句会形式の授業。あらかじめ自宅で作ってきた四句を皆の前で披露するのです。一句一句の検討がされます。先生の講評が主軸のこの授業は、丁寧かつ親切な添削があり、深い学びを得ることが出来ます。講座の雰囲気は、いつもアカデミック。新人であっても、わからないことを自由に質問できる空気が漂っています。休憩時間も和やかそのもの。当初、「敷居が高いのでは」と、憂慮していた筆者も心配は無用でした。できれば、若千名の受講者が増望されます。多様な意見が、句会を発展させることとなります。

新年度多くの出会いをお待ちしています。

(築田 信子記)

ボウリング講座

フレイル予防しましょう

日頃の運動不足等から老化を感じる年頃になり、何かやらなければという思いでボウリング講座を選択することになりました。

コロナ禍の影響で、受講者は私を含め新人2人と先輩2人男性2人、女性2人の計4人と昨年と比較して激減しました。少人数ですが、毎回和気藹々と先生や先輩からアドバイスを受けながら、リーグ戦の勝敗に一喜一憂しレベルアップを目指しています。その結果、私にとって体力維持と脳の活性化にも役立っているような気がします。ボウリングは、身体的活性化はもちろんの事、コロナ禍のうつうつとした自粛生活から解放し、精神的ストレスを解消する事ができる最適なスポーツだと思っています。

来年度は、コロナを乗り越え受講



者数が増え、賑やかになる事を期待しています。

(渡邊 隆雄記)

パソコン講座

理想を失うとき、初めて老いが始まる

今年度からパソコン講座Ⅰ・Ⅱが統合され新生「パソコン講座」がスタートしました。学心のある14人が受講、それぞれのレベルに合わせて佐伯先生の明解で丁寧な指導、詳細に指導下さるアシスタントの後藤先生、そして学友と新年度の授業が始まりました。



しかし、早々に新型コロナウイルスの感染拡大に伴い6月迄休講・自粛、7月の緊急事態解除を経て再開しました。講座では、先生のオリジナル教材を用いてプロジェクトに映し出された映像と説明を聴きながら2時間(10分休憩)画像と睨めっこ……一心不乱の中、時計台の甲高い鐘の音を聞き我にかえり授業が終わります。顧みれば、数年前私のパソコンレベル

は小学生が、大学生と会話する程度の理解力でした。今回初めて基本操作から授業を受け、両先生の指導により、カリキュラムが進むに伴いレベルアップを実感する様になりました。

今後、身心が退歩して行く中、デジタル化(新しい価値の創造)により利便性や効率アップは手間を省き時間に余裕をもたしめてくれるはず。その為には、生活を充実したものにしていって行く、意識を変える事が必要です。

これからは、本講座で教わったツールを生活の中に取り入れながら、孫や友人達とパソコンやスマホに関する会話を楽しくて行きたいと思っています。

(鎌田 昭夫記)

同好会活動

パークゴルフ同好会は新型コロナウイルス感染拡大を注視し、7月から10月まで予定されていた4回の月例すべてを取りやめた。

ゴルフ同好会は感染に注意し10月6日にダブルペリア方式で年度最後のオープンコンペをエルムカントリ倶楽部で開催。ゲスト参加含め22人で最後のプレーを楽しんだ。

U H B 会員の伊藤正夫さんがグロス87でラウンドし優勝、33期生菊地栄一さんが86で準優勝。19期生北本武雄さんが3位に入った。

おくやみ

心からご冥福をお祈りします。

赤保内 躰さん(17期生パソコン講座)

令和3年12月26日逝去されました。

おめでとう

★第39回北海道シニア陶芸展において、西尾 敏明さん(28期生)が作品名「葉ひこばえ」で最高賞の北海道陶芸協会賞(北海道知事賞)を受賞。安住 栄子さん(25期生)は作品名「憩い」で北海道火災共済協同組合賞を受賞。激励賞は岩田 浩子さん(30期生)作品名「刻」、山下 貢さん(30期生)作品名「花器―神話との融合―」、川岸しのぶさん(32期生)作品名「収穫の秋」でそれぞれ受賞した。小林美恵子さん(33期生)は作品名「桜のあかり」で2部新人賞を受賞。また、講師の小倉裕美子先生は作品名「爽・ベクトル」で会員優秀賞を受賞した。

編集後記

☆講師先生のご指導のもと第34回文化祭も無事終了する事ができました。関係各位に感謝申し上げます。

☆今春開講35周年を迎えるU H B 大学は新年度の準備が始まりました。コロナ禍の中ではありますがより生涯学習をお楽しみいただけるよう事務局一同努力を続ける所存です。

発行
uhb大学
事務局
札幌市中央区
北1条西14丁目
北海道文化放送内
(011)214-5225